

静岡松涛タイム 第68号

発行元：静岡県本部広報部 責任者：置塩大三郎

連絡先：0547-35-4537(TEL&FAX)

E-mail：takkukan@lemon.plala.or.jp

県本部 HP：http://www.shizuoka-karate.com/

広報部 HP：http://plaza.across.or.jp/~cyber-ex/

■第15回 JKS 静岡県空手道選手権大会■



平成26年6月15日(日)に第15回JKS静岡県空手道選手権大会が、静岡市の北部体育館で開催されました。幼年から一般まで約500名が参加し、連日続く夏日に引けを取らない熱気に包まれた会場となりました。各自がそれぞれ頂点を目指し精神を集中させ、緊張や気負いを押さえ込みながら試合に挑む姿は、幼年から一般まで一様であり、観ている者を魅了していきまし

た。そんな試合が、9つのコートで行われた今回の大会は、試合の激しさに負けない応援がとても心に残る大会だったと思います。特に、最後に行われた一般有段男子の決勝は、個人の熱い闘いに加え、仲間を応援する声が多く飛び交うとても印象的なものでした。応援してくれる仲間の声で湧き出る力、保たれる気力、両者からそれらを感じる事ができた試合だったと思います。良い結果を出すことも大事ですが、大会に参加することで、何か一つ得ることが出来れば、それは素晴らしい事だと思います。負けて悔しい思いをする事でも、同じ支部の仲間を応援する気持ちを知る事でも、仲間の応援を受け頑張る強さを知る事でも何か得る事が出来れば、その大会への参加には大きな意味があるでしょうし、成長に繋がると思います。私自身、団体型の試合に出場させて頂き、仲間と型を打つ楽しさ・強さ・安心感を、得る事ができた本当に楽しい大会でした。最後に、大会運営のために支えて下さったコートスタッフや役員、審判の先生方皆様、皆様のおかげで無事進行でき、大会が大成功したと思います。この場をお借りしまして心より感謝し、お礼申し上げます。ありがとうございました。(レポート：島田支部 鈴木千穂)

■第15回 JKS 全国空手道選手権大会■



平成26年7月26日(土)27日(日)に第15回全国空手道選手権大会が、静岡県藤枝市県立武道場で約1200名の選手が参加者し、盛大に開催されました。今年は徐元静岡県の開催で、非常に多くの県勢の

選手が参加し、活躍してくれました。県内各支部の支部長先生方をはじめ、ご父兄の皆様や南陵高校の先生方、南陵高校生徒スタッフの皆様においては、大会準備、大会役員を等のサポートして頂き、誠に有難うございました。毎年のことではありますが全国大会は、スケジュールの都合上、初日の試合終了時間が遅くなり、出場された選手の皆様さんには負担が掛かっていました。そこで新たな試みで、今回からタブレットシステムを使い、試合進行時間が大幅に短縮されました。スタッフの皆様には、初めての試みでしたので大変だったと思います。私事では有りますが、表彰の待ち時間が長くなり、表彰者にご迷惑をおかけし反省点が多々ありました。来年の全国大会は、東京の予定です。今回優勝した選手は連覇を目指し、優勝できなかった選手は、優勝めざし頑張ってください。今回、大会役員となって試合に出場できなかった静岡県内の各支部選手や先生方も、次回の大会では優勝めざし頑張ってください。最後になりますが、本大会の大成功を持って報われたと実感します。大会運営をご支援していただいた大勢の皆様、ありがとうございました。そして大変お疲れ様でした。(レポート：島田支部 置塩 大三郎)

■平成 26 年度夏季合同合宿■

平成 26 年 8 月 2・3 日に、毎年恒例の夏季合同合宿が菊川南陵高校で行われました。総勢 150 名が集まり一生懸命、汗を流しました。例年に比べ指導員の人数が少なかったのが残念でしたが、さすがは南陵高校！菊地理事長を始め、全日本ナショナルチームの岡本先生、静岡県大会、東海北信越大会を制した松澤先生といった指導員の層の厚さで、しっかりカバーしてくれました。同じ指導員として学ぶ事もたくさんあり良い合宿になりました。2 日目の高校生の朝練に教え子の静岡高校の生徒と一緒に参加しました。岡本先生の号令で、鍛練をしましたが、40 代の私は高校生や 20 代のトップクラスの選手の両先生には全くついて行けず、全身筋肉痛と、もっと身体を鍛えなければという思いを頂きました。ありがとうございました。最後になりましたが今回の合宿は、南陵高校の先生方や生徒スタッフの多大なバックアップと参加して頂いた指導員の先生方、送り迎えをしてくれたご父兄の皆様のおかげをもって大成功しました。本当にありがとうございました。参加した生徒は、楽しかった思い出にするだけでなく、合宿で学んだことを今後の稽古に活かしてレベルアップを図って下さい。楽しみにしています。(レポート：清水支部 上條康光)

■第 15 回静岡県中部地区空手道選手権大会■



平成 26 年 8 月 24 日、静岡県営草薙体育館に於いて第 15 回静岡県中部地区空手道選手権大会が開催されました。312 人の参加者による熱戦となりました。猛暑による熱中症も心配されましたが、空調の無い体育館でも心地良い風が入り清々しい気分で大会に臨むことが出来ました。余談ではありますが、この草薙体育館は 1966 年に開場され、老朽化により来春にはリニューアルされる予定です。従いまして、この体育館を使うのも今回が最後かと思うと地元民としては、感慨深いものがありました。さて、その大会ですが、先月静岡県藤枝武道館で開催された全国大会から起用された、タブレットを用いた先進技術の試合進行システムにより、すばらしくスムーズな試合運びとなりました。自分も選手として参加させていただきましたが、独特の緊張感には何度臨んでも慣れず、今回も頭が白くなりながら文字通り無心で型をやりました。そこで自然に出てくるのは普段の練習で身に付いた事だけです。悪い形で染みついた物もそのまま出てしまいます。いくつかの反省点を抱えつつ、午後の組手となりました。一人の子が試合直前、自信が無い、勝つ気がしないと云っている場面に出会いました。自分の事はさておき、普段練習した通り思い切ってとびこんでみろと言った所、刻み一閃きれいに決まりました。一つ壁を乗り越えたのではないのでしょうか。次の試合も見事な刻み突きで勝ち進みました。いつもこのようにうまくいくとは限りませんが、努力は裏切らないと感じました。また精進すれば今日よりもっとうまくなれると思えました。空手を通してたくさんの感動に出会える日々感謝しております。最後になりましたが、大会を開催して下さった先生方、何日も前から御準備下さりありがとうございました。また、中部地区の大会にも関わらず、遠方より特別に審判として参加して下さいました先生方、コート係等サポートして下さいました御父兄の皆様に心良より感謝し、この場をお借りしましてお礼申し上げます。(レポート：清水支部 烈士館 川口洋充)

平成 26 年 9 月 14 日(日)藤枝市民武道館にて、第 14 回将陽館支部大会が開催されました。この大会は、焼津・浜松・菊川・掛川の全 6 ヶ所の道場生が一同に会して行われる大会です。今年もそれぞれが日頃の稽古の成果を出し合い、白熱した試合で大会を盛り上げてくれました。また、幼年の小さな女の子が、黒帯のお兄さんをお手本にしながら覚えたての平安初段を打つ姿は微笑ましく、同時に元気な声と真剣な眼差しは逞しくもありました。数年後にはきっと、また新たな後輩のお手本になってくれることと思います。今年は、掛川の鈴木先生が試割りを、焼津の竹内先生と新井先生が組手の演武を披露して下さいました。先生方の見事な技に選手達は大きな刺激を受けたことと思います。今後も、道場生同士切磋琢磨していけるよう、ご指導よろしくお願いたします。(焼津将陽館 田畑滉太の母 みのり)

■第 14 回 将陽館支部大会■



白熱した試合で大会を盛り上げてくれました。また、幼年の小さな女の子が、黒帯のお兄さんをお手本にしながら覚えたての平安初段を打つ姿は微笑ましく、同時に元気な声と真剣な眼差しは逞しくもありました。数年後にはきっと、また新たな後輩のお手本になってくれることと思います。今年は、掛川の鈴木先生が試割りを、焼津の竹内先生と新井先生が組手の演武を披露して下さいました。先生方の見事な技に選手達は大きな刺激を受けたことと思います。今後も、道場生同士切磋琢磨していけるよう、ご指導よろしくお願いたします。(焼津将陽館 田畑滉太の母 みのり)

白熱した試合で大会を盛り上げてくれました。また、幼年の小さな女の子が、黒帯のお兄さんをお手本にしながら覚えたての平安初段を打つ姿は微笑ましく、同時に元気な声と真剣な眼差しは逞しくもありました。数年後にはきっと、また新たな後輩のお手本になってくれることと思います。今年は、掛川の鈴木先生が試割りを、焼津の竹内先生と新井先生が組手の演武を披露して下さいました。先生方の見事な技に選手達は大きな刺激を受けたことと思います。今後も、道場生同士切磋琢磨していけるよう、ご指導よろしくお願いたします。(焼津将陽館 田畑滉太の母 みのり)